

藤波こども園

園だより

No. 7 8

令和4年1月28日

ホームページ www.fujinami-ci.sakura.ne.jp/ (藤波こども園で検索可)



旧 藤波幼稚園



現 藤波こども園
(tel 0740-32-0329)

ドロドロ・ドボドボ～ガラスの氷



よく晴れた朝のこと、田んぼの溝にはしっかり氷が張っている。雪の表面が堅く閉まり子どもたちが走り回れるほどだ。さすがに大人はそうは行かず先生たちはゴボゴボと足をごぼらせながら子どもたちを追いかけている。溝に張った氷を走り回って割っていく子、割れた氷を担ぎ上げ誇らしげにしている子、溝がうまく越えられずにはまっている子、どの子も田んぼの雪と水と泥でぐちょぐちょになっている。冷たいだろうにみんな笑顔だ。職員室からよく見えるので、仕事をしていた先生はもうすぐ帰ってくる子どもたちのために次の準備に入っている。ドロドロ、ドボドボで帰ってきた子どもを受け入れ、着替えさせ洗って干すという作業である。帰ってきた子どもたちを笑顔で受け入れ、冬の田んぼでの雪・氷・泥水とたわむれ、存分に楽しんだであろう子どもたちの思いをそのまま受け入れる。「風邪をひくやん」「服が汚れるやろ」「ほんまにもおー」そんな言葉は一切無い。そこには子どもたちと先生たちが共に喜び過ぎていく時間がある。我が園において、こうした情景は今後も残って欲しいと願う。最後に、思いっきり遊んで終わりかと思いきや、大量に仕入れてきた氷をそりに乗せ、園庭で、0～2歳児たちに配っていた。「毎度あり～」「どうぞどうぞ」と氷屋さんの即売会で締めくくった。でもそれを貰った年少児たちは、大きな氷に興味津々。手に取って眺めたり、のぞき込んだり、透かしたり、氷を通して友達と向かい合ったりと、それぞれの年齢に応じた遊びを満喫していた。次々と発想を展開し年齢に関係なくつながり、最後まで遊び尽くす姿に、普段の縦割りの成果が現れてきているように思う。子どもたちに驚くと共に、とても頼もしく思えた姿だった。



子育て事情

トレンド イクメン

園長職を離れて約3年。再び園に来るようになって登園の様子が変わったことがあると感じた。子どもを園まで送ってこられる保護者に男性の割合が増えたことだ。子育てに参加する男性が増えたことはおおいに喜ばしいと思う。園長をしていた頃、子どもを送ってこられた男性に「大変ですね毎日」と声をかけたところ「いや、子どもと一緒にいるの楽しいですよ」と返ってきた。それを楽しむ父親の姿があった。我が子はかわいい。でも子育てはかわいいだけではいけない。近年社会の様子が変わってきて男性の育休取得率も上がってきている。男女が共同の子育ての姿は年々増加しているようだ。だが、まだまだ女性任せの風潮は優勢だ。今後さらに男性の参加が増えることを期待したい。

子どもあれこれ

寄り添う 待つ

運動遊びを楽しむにしている子は多い。「今日のコーチはだれ？」リーベのコーチが準備をしているそばから待ちきれずに遊戯場をのぞき込む子、コーチにしがみついている子、多くの子が後の運動遊びの時間に思いを馳せウキウキとしている。いざ始まると自分のお気に入りの遊具の場所に行き笑顔がはじける。しかし、中には少し距離を取って見ている子もいる。すぐには動き出さない。そうした子の様子にいち早く気付くのは先生たちもコーチも一緒だ。だが、すぐに口出ししたり無理矢理手を引っ張ったりすることはない。その子の思いが熟するのを待つ。多くの場合その子の目は楽しむ先生やコーチや子どもたちに向けられている。本当は楽しみたいようだ。ただ何か邪魔をしている。先生もコーチも子どもたちと一緒に楽しんでいる姿をその子の方に笑顔のシグナルを送る。「よかったらおいでや」と。時間内にほぐれた子は心を開いて遊びに興じる。その時間中に参加できなければ先生たちはその子の気持ちに寄り添う。時間はかかってもそんな思いがいつか子どもの心を開く。そう信じ取り組み続ける。忍耐はあるがやりがいはある。

子どもあれこれ

降園バスで ぐっすり

いつも元気な年長女児、その日は降園バスに乗り「今日寝てもいい？」。先生が「どうしたん今日は？」と聞くと、「今日な、雪組さんを乗せて引っ張ったから疲れた。」先生たちによれば、確かに3人の雪組の子どもをそりに乗せて引っ張ってやっていたらしい。途中先生が、「そんなにがんばってしんどないか」と問うと「だいじょうぶおもしろいから。でも、雪のあるところは楽やけど無いところはちょっとしんどい」（雪が溶けて芝生に水が浮いた様な状態でまるで水上そりのようでした）といいながら楽しそうに遊んでやってくれていたとのこと。さすがに帰りのバスではお疲れが出たようでした。でもいい姿ですねえ。



大丈夫かなあ

2歳児を築山の上まで引き上げようと手を貸す年長児、ちょっと時間はかかりましたが、何とか引き上げることが出来た。年長児「なかなかおもかったわー」。実は下では先生が、2人とも落ちてきはしまいかと待ち受けてました。でもようがんばった。



笑顔の花満開

園庭から部屋の中をのぞくと雪遊びに出かける準備をしている子どもの姿がカメラを向けると気がついたのか笑顔に、さらに先生が、「見られちゃった」と着替えさせて貰っているところを見られたと声をかけると満面の笑みに、周囲では子どもたちが「みられちゃったー」「みられちゃったー」と大はしゃぎだった。



☆ご協力ありがとうございました☆

藤波こども園の教育・保育についての評価(アンケート)結果は別紙にてご覧ください。